日伯新聞
Sr. Kobayashi R. Galvão
伯國聖市マエスト・ロ・カルヂン街二二番地（二五八）
發行所日伯新聞社
本紙定價年弗ミル
外國郵税共百ミル

ペリカン
Pelikan
GÜNTHER WAGNER LTD.
日本人總代理店 日伯社

廣濟の陷落間髪

梃身、肉彈突擊を敢行
敵陣一擧撃滅の火蓋
皇軍三方より怒濤の猛攻

（黄梅六日同盟）大別山麓の諸堅壘を突破廣濟を眼下に臨み破竹の進擊を續けてゐる江北戦線部隊は愈よ六日午前七時を期し廣濟總攻擊に移つた、即ち左翼中野、長谷川部隊は納家砦より一擧に獨山、許家舗方面より、右翼佐野部隊は葉家舗の線を中央より、若松部隊は五里坡より廣濟目指し友軍の荒鷲十數機の空爆と藤村部隊の援護砲擊のもとに前面的攻擊を開始した、廣濟占領は全く目前に迫つた

（荆竹嶺六日同盟）大別山脈の嶮峻による敵の堅壘を征服し廣濟を望んで意氣益々軒昂たる我が精鋭各部隊は得意の追擊戦により五日夕刻までには廣濟前面の敵陣納家砦の線は確保され廣濟の陷落は既に時間の問題となつた

【黄梅六日同盟】廣濟街道進擊部隊は昨日に引續き六日早朝より敵の據點鷲峰砦に挺身肉彈突擊を敢行午前七時遂にこれを占領した、全將兵は山頂より西方五キロの廣濟を俯瞰し意氣天を衝き更に猛進中である、また他の部隊は蛾峰砦の南方要害胡立を占領した

彼我の死闘二晝夜
文字通り血河屍山
壯烈、月明下に山嶽戦

【葉家集五日同盟】史河東岸に四日間を機續、今、長龍、順家店前面に於て去る三日以來我に抵抗中の敵第八十八師は中央直系の精鋭軍だけに前線より潰走する味方をして督戰しつゝ四日日淩より徹宵數回に亘り執拗に逆襲し來り我が諸角、黒見部隊との間に肉彈相搏つ凄壮なる山嶽戦が煌々たる月下に展開されたが我が猛攻に流石の頑敵も遂に屈し五日朝來漸次潰走しはじめた、彼我の死闘は二晝夜に及び附近の高地一帯には敵の遺棄死體散亂し文字通り血河屍山の凄惨なる情景を呈してゐる

【廬州五日同盟】葉家集西方地區の戦闘は二日夜半以來既に四日間も山嶽陣地による數倍の頑敵を次々に高橋の諸部隊は五日も山嶽陣制壓中で敵は既に一部潰亂狀態に陷つてゐる、この方面の敵兵力は捕虜の言によれば第卅六、十六、八十八の三個師であると

百數十度の酷熱下
目指す漢口攻略へ
頑敵撃破し果敢の進擊

【南京六日同盟】我が軍は七月三十日頃より城内湖より馬鞍山を經て〇〇山の敵陣地を突破南進中なりし中支軍發表、去る七月二十六日九江に渡り敵數個師の據る堅固なる數千の陣地に對し果敢な猛攻を開始せり、該方面の將兵を集中して屢々我に向ひ逆襲し來りたるも我が軍は常に機先を制してこれを反撃しその企圖を破碎せり、然れども加し遂に三十個師に達する大兵を集中して屢々我に向ひ逆襲し來りたるも我が軍は常に機先を制してこれを反撃しその企圖を破碎せり、然れども

嶮峻軍と闘ふの苦勞

我が空軍部隊
岳陽を猛襲

【香港六日同盟】中央通信所報によれば我が飛行隊は五日午前十一時湖南省岳陽を襲撃停車場その他軍事施設に大損害を與へた

第三國權益後楯に
漢口租界自ら武裝
支那側、陷落を前に暴擧

一、舊英國租界入口には強固なる防備を布してゐる
一、各租界バンドには第三國權益を後楯として隠蔽機關銃陣地を多數構築してゐる

などの暴擧を敢てしてゐることが判明した、右は即ち支那側が漢口租界を自ら武裝し、五日我が外務當局が各國に通告した中立條件と全く相反した事實を示すものである、これがため各國が支那をして至急これ等の武裝を撤去せしむるの措置を講ぜざるにおいては我が方としては中立地帯不承認の擧に出でざるを得ず作戦を進捗せしむることが絶對不可能の情態に陷つてゐる、武漢陷落を前にして第三國が右に關し如何なる態度に出るか極めて注目されるに至つた

【上海六日同盟】漢口より外人筋に達した情報によれば武漢陷落切迫と共に

一、武漢防衛指揮官はこの程漢口の個人的外國財産を軍事目的のため使用する旨を公表した

德安空爆行
記手戦觀

機首下ると見る間に
敵の陣營轟然崩壊！
颯爽・亂舞する荒鷲の群

【〇〇六日同盟】德安街道附近の敵陣地を突破南進中なりし基地五山の南側を迂廻する江に起伏する丘陵を突き拔けて南に走る【〇〇五日同盟】五日午前十一時五十分佐瀬育三大尉指揮の荒鷲）爆擊行に同乘するを得た、蘆の陸の荒鷲）を凝視する、愈々戦場に來た南溥鐵路がかすかに見え、左一時と光つて消えると線路のない午前十と光つて消えると線路のない德安街道の白い道がキラリ

【〇〇六日同盟】德安街道附近には無數の大穴が口を開けてる、我が空軍猛爆の跡だ、瑞昌、德安街道の狹い谷間の部落が白煙を擧げて燃えてゐる、街路を廟と微笑して指させば脅え切つた敵の四散して行く姿が眼右往左往する自動車もそろそろ見下される、その瞬間永遠な水面が場修河の上流と覺しき邊りから快飛行が續けられて行く、永のだ、德安街道附近には無數の黒點が加速度的にふくらむと永修市街だ、機銃射手は完全に命中と書いて渡してくれた、今迄打ち續けてた敵の防空陣地と塹壕などは〇〇弾の炸裂なく德安市街が段畑の端に現はれ來つた、昨日の猛爆に殘された南側の市街が黒い屋根角から白と黒のまざつた煙を揚げ高射砲が間斷なく打ち揚げられる、機は市街にのしかゝるようにグッと下降する、パッと閃光が散り黒煙がむつくりふくらむ、ダーンと震駭する爆音が機體をゆすぶる、觀測手は遙早く紙切れに全彈一時五十分佐瀬育三大尉指揮の荒鷲）南溥鐵路がかすかに見え、左の陸の荒鷲）

筆架山一氣に突破
敵據點を次々占領
戦果西北に擴大中

【九江六日同盟】赤湖武山より筆架山の雁關を一氣に突破した江南岸逆擊部隊は五日夜同市西方に聳える洪山の敵に猛攻を開始し、同夜半完全にこれを占領した、一方左翼部隊は五日午後八時白龍泉を迂廻して一擧に大山の攻擊を開始し白兵戦を演じ同夜完全にこれを奪取し更に六日早朝行動を起した〇〇部隊は午前十時過ぎ双泉寺、双峯尖の線に進出し戦果を西北に擴大中

【九江五日同盟】南溥線方面我追擊部隊の一部は德安北方を迂廻し右翼前線陣地と目さるゝ馬廻嶺東南約一里半の伏龍山、塔山方面一帯に於て我進擊を阻止せんとする敵と猛烈なる激戦を展開中である

南方陣地に對し攻擊を續行中西の線に進出し引き續きその陣地を蹂躙し三日夕馬廻嶺東なり

過去の夢より醒め
一切の態度改めよ
東日、英の奇怪な行動に警告

【東京六日】六日の東京日日は極東情勢の認識英國なほ悟らずと次の如き社説を掲げてゐる

日英會談は深く内外の關心を唆つてゐるが、當面の問題として例へば揚子江自由航行要求などは何を意味するものだらうか、蔣政權が機雷原を以て封鎖してゐる間の長江に就いては一言の異論も挿まなかつた英國が一度それが日本軍の占領地域となるや忽ち自由航行を要求して已まぬと云ふのは誠に不可解な表裏二様の態度と云はなくてはならぬ、戦火の余炎を慮つて艦船の立退きを要請せる時英國が支那軍の退却に對し様々の利便を與へる現實を見せつけられては日本側に如何なる印象を與へるかは云ふを俟たない、對日態度なり對蔣援助態度なりを改めない限り英國側の要求は第一國民の輿論が之を受容れようとしないであらう、英國が長江に誇つた優越感は過去の思ひ出に過ぎない、勘くとも事變以來舞臺は全然一變したのだ、英國側はこの新事態に對處する爲には諒解と協力を求むべき立場にある、しかも之が原則は依然蔣政權を援助するか否かによつて決せられる、英國側の要求は何れも事務的案件に過ぎず、今日の日本には單なる事務的案件のために論爭對立に耽ける暇もないが、日英交渉は總て極東特に支那に於ける現實を背景とし之を基調とすべきことをこゝに特に一言して置かなくてはならない

隴海線方面の皇軍
突如、行動を開始
勢ひ、疾風枯葉を卷く

【北京六日同盟】四日突如隴海線方面より行動を起し倉新鋭〇〇部隊は敵を撃破しつゝ西進、同日午後九時一氣に河南省太康城を占領、五日引續き〇〇に向け猛進しつゝありその神速は正に疾風枯葉を卷くの慨がある

【蘆州五日同盟】四日の商城爆撃に引續き五日午後五時田中部隊陸の荒鷲軍は銀翼を連ねて長驅商城を再爆撃し、敵集團及び陣地に多大の損害を與へた

陸空軍大擧し
商城再爆撃

田代天津總領事
歸任の途へ

【東京六日同盟】田代天津總領事は中央部と事務打合せを終り九日午前十時三十分東京驛發歸任の途についた

歐亞航空公司
香港、昆明間
當分運行を中止

【香港六日同盟】歐亞航空公司は六日同社の香港、漢口線及び香港、昆明線を當分の間運行中止する旨發表した

爲替

六日

	英	米	伯	伯
公定相場	八四、九五五	一〇〇、〇一〇	一七、九〇〇	三〇、一九五
自由相場	一七、九〇〇	三〇、一〇〇		

日伯漫談
須田町人

ヘエ家をお買ひになりましたか、ナニ二百コントスそれはまあ豪勢なことでお目出度うございます、ヘエ自動車にダイヤにおべべが都屋に一杯、なんとまあ、美しいことでございますなあ、矢張りいゝ星の下にお生れなさつた方はちがひますなあ、時に

奥様手前どもの方で今度こんなことを伽さうと思つてるんですが、月二十ミルばかり出しちゃ頂けますまいかアラそう折角ですがねえ私んところじゃ會だの寄附だのは一切せぬことにしてますので、まことにすみませんけど、世の中にはこう云いことでございますなあ、矢張りいゝ星の下にお生れなさつた方はちがひますなあ、時に

奥様手前どもの方で今度こんなことを伽さうと思つてるんですが、月二十ミルばかり出しちゃ頂けますまいかアラそう折角ですがねえ私んところじゃ會だの寄附だのは一切せぬことにしてますので、まことにすみませんけど、世の中にはこう云いことでございますなあ、矢張りいゝ星の下にお生れなさつた方はちがひますなあ、時に

奥様手前どもの方で今度こんなことを伽さうと思つてるんですが、月二十ミルばかりいやお客様は木戸錢を拂つてまで、手前どもの講釋を聞きに來そうもねえ筈ですが、矢張り聞きに來てなさるから不思議でさあ、手前どもそんなお客さんに向つちゃ遠慮はごめせんからボロクソに云つてのけます、お氣に召さねば木戸錢は返しますから歸つておくんなさいといふところでさあ、世の中には正規の税金以外にソーシャルタックスまあ社會税とでも申しやすかなあ不思議な税金がごわす、貧乏人にゃ決して掛つちゃ來ませんが、少し

金でも出來て工面がよくなつてきますと必ず掛つて來ますなあ、やれ何の會、それ何の寄附何のリーフアと云つたものは悉く社會税でさあ、一個人で

年間、社會税の五十コントスも拂へるやうになりゃ大したものですが、殘念ながらまだ日本人間にゃそんな人は居ません、それと反對にこの社會税を出し渋つたり、全然出さないとなりますといくらお金があつて自動車だダイヤだおべべだと贅をつくしても、社會からは人間扱ひにしてもらへませんなあ、而してまたそんなのが何人ふえたからとて、少しも同胞社會のためにゃなりませんや、人の繰路を邪魔する奴は犬に噛まれて死ねばよいなんて申しますが社會を思はず他人のことを考へない我利々々亡者などは地獄へなり極樂へなりと、氣の向いた方に行かせるに限りますなあ、皆さん御存じねえかも知れませんが、サンパウロには日本人の旦那衆の間に金曜會とか云ふのがごわしてねえ、毎週金曜日に寄り合つて一諸に飯を食ふのだそうです、ウソか本當か知りませんがその起りがなんと

寄附金撃退の相談からだそうで、手前どもスッカリ感心しちゃいましたねえ、流石に旦那方は智慧がおあんなさる、わけてもこいつを思ひ付いた奴は餘程ガツチリしてるとみえますなあ、聞けば海興さんブラ拓さんもその會員さんだそうで

道理で近頃寄附金撃退の手を上げなすつたことが解りました、だがこうして旦那衆が先へ立つて社會税を廻避するやうじゃ、在伯邦人社會も大したことにはありませんなあ、カムビオが一寸ちがつても三百、五百は直ぐどうにかなるブラジルで、暴落ばかりの寄附金撃退に旦那衆が集つて相談、流石に智慧者の多いことでごわす

九月新譜
Columbia
悲歌（エレヂー）
コザックの子守唄
▼獨唱▼
35322 宮川美子
母性愛の歌
曠野の子守唄
▼流行歌▼
29729 渡邊はま子 ミス・コロムビア 松平晃 霧島昇
さくら進軍
軍旗の兄弟
[29707]
伊藤久男 霧島昇
博多月夜
[29708]
あこがれの旅路 霧島昇 晋丸
おぼろ月夜
希望の彼方
29709 ミス・コロムビア 霧島昇
▼映畫説明▼
撃滅
65408 65409 谷天郎
童謡
日本少年行進曲
君か代をどり
29727 中島けい子 飯田ふさ江
▼万才▼
産後銃後（三五・十五）
68953 砂川捨丸 荒川歌江
▼落語▼
上海みやげ
68948 三遊亭金馬
▼端唄▼
御所車
京の四季・葉櫻
27782 葭町 藤本一三吉
最後の君か代
68936 68937 東家三樂
石童丸
68946 68947 天中軒雲月
ドーコレアビムロコ

北パラナの小麦作

小麦栽培が採算的に可能なりや否やについては從來專門家の間に於ても異論あり、農家としても他に有利な作物のあつたゝめか小麦栽培に精進するものなかつたが、年々六十萬コント乃至八十萬コントを海外からの供給に仰いでゐるブラジルとしては國家經濟改善の見地からこれが輸入防遏は喫緊の要事であり、歴代の爲政者またこの點に意を須ひて來たところ實績を擧げるまでにはいかなかつた、從つて輸入小麦は防遏はさて措き逐年増加の傾向を見せ、爲に政府は一兩年來小麦代用品としてマンヂオカ、ミーリョ等の使用を奬勵して來たが、フエルナンド・コスタ氏が農務大臣に就任するに及んで、聖州以南の四州には聯邦農務省直屬の職員を置いて各州内に於ける栽培指導に任じ、積極的奬勵策を採るに至つたのである

去三日聯邦農相臨席の下に牧種祭を行つた北パラナ野村農場では專門技師によつてすでに七年來試作を續け適種の研究を積んでをり、今年始めて本格的栽培に對する自信を得たといはれるが、本年の實績並に農場當事者の意見を綜合するに、氣候、土質は尠くとも北パラナに於ける限り好適であり、冬季作物として短期に收穫を了え得ること並に耕地利用の點から農家の裏作として恰好のものであり、市價の方面から見ても俵四十ミル前後の現相場を維持する以上十分算盤に叶ひ、販路に至つては當分絶對に懸念の要を見ないものゝ如くである、農家の最も苦勞するは作物の販路如何に在り、珈琲といひ、棉花といひ、護謨といひ、コアといひ國際的性質を帶びる作物は孰れも販路の狹められ或は杜絶することによつて市價が不測の低落に遇ひ、滞貨を抱ふるの餘儀なき憂目を見ること稀ならずあるのである、若し販路に懸念なければおよそブラジルに於ける農業は往くとして可ならざるはないだらう、而して小麦作が正にこの安全圏内に在るとすれば、その前途は云ふまでもなく洋々たるものある筈である而もこれは雪に農家の爲によいばかりでなくブラジルとしては國策的見地から頗臭も閑却出來ない問題であつて、フエルナンド農相が野村農場の功績を讃え凡ゆる援助を吝まぬ旨誓つたのも、またこれと移民問題とを結び付け外國移民誘入の要を高調せるも、麦の國内生産が國家經濟上絶對不可缺のものなるが故に外ならないのである

農務省の意向によると北パラナは鼓數年を出でずして小麦の一大生産地となら、而して之を模機に同地帶は急速整一せる製品を産出する方途を拂ふと共に、すでに同地方

英國側の壓力により チエツコ結局泣寢入か 獨、更にヘンライン尻押し

【プラーグ五日同盟】チエツコ政府はベネシュ大統領司會のもとに五日午後五時半から前後四時間に亘り緊急閣議を開催、ズデーテン黨對策につき重大協議を遂げたが、その結果ズデーテン黨側に更に譲歩を行ふに決し、譲歩案を作成したが右に關し閣議散會後次のコミュニケが發表された

チエツコ政府は獨乙人問題解決の共通の基礎發見のため、去る八月十七日に行はれたズデーテン代表との會見後發表されたコミュニケの線に沿ひ獨米小數民族問題に關する交渉を進めて來た、ベネシュ大統領は最近ズデーテン黨代表と非公式會見を行つたが、右會見は以上の努力に貢献することが甚大であつた、政府は本日の閣議でズデーテン黨に對する決定案を審議したが同案は近くズデーテン黨側に提示される筈である

【プラーグ五日同盟】チエツコ政府がかく譲歩を決意したのは主として英國からの壓力によるものと云はれる、提案現に滿足せず、更にチエツコ政府の外交方針變更を要求するようヘンライン黨首に指令するのではないかと依然懐疑的見解も行はれてゐる

而して一部では獨乙政府は單にズデーテン獨乙人の自治實現に滿足せず、更にチエツコ政府の外交方針變更を要求するようヘンライン黨首に指令するのではないかと依然懐疑的見解も行はれてゐる

佛獨國境、異常の緊張 歸休兵も召還、佛兵力增强

【巴里五日同盟】ニューレルンベルグナチ黨大會を控へて全歐洲が異常な緊張を示してゐる折柄五日フランス政府は一部豫備兵に召集命令を發し國境要塞の人員を最大限度に充實すると共に休暇中の全將兵に對して直ちに原隊に歸還するよう命令した旨發表した、右は險悪な國際情勢に鑑み又獨逸側が獨佛國境方面に兵力を增强したのに對抗するためと解される、一方國境ストラスブルグからの報道によれば獨逸側は三日來ライン右岸のケール、オフエンブルグ地方に續々機械化部隊を集結しつゝあり砲兵隊、重機關銃隊などが相次いで來着してゐるとは伝はれ、ライン河一帶は今や異常な緊張した空氣に掩はれてゐる

【倫敦五日同盟】駐英佛蘭西大使コルバン氏は、五日午前英外務省にハリフアックス外相を訪問、國境方面に於ける獨逸軍の移動に備へ佛蘭西政府は警戒の措置を講じた旨通告した

和蘭王室に聖上御祝電

【東京六日同盟】天皇陛下には和蘭女王御親政四十年祝典擧行につき六日御鄭重なる御祝電を御發送あらせられた

熱狂的歡呼裡に ヒ總統、大會乘込む

【ニューレルンベルグ六日同盟】ニューレルンベルグ第十回ナチス黨全國大會は全世界の視聽を集めて愈よ六日から一週間ニューレルンベルグで開會されるが、ヒトラー總統は同大會に出席のため黨團の首腦を從へ五日午前十一時ミュンヘンから特別列車でニューレルンベルグに乘り込んだ、總統は沿道に堵列するナチス黨各團體在外獨逸人代表その他數十萬の群集の熱狂的歡呼に答へつゝ自動車で宿舍ドイチヤーホーフに入つた、五日は午後四時市會議事堂で市長主催の歡迎會があり六日から愈とこゝ議事に入る段取である

漢口をペンで陥落 從軍文士近く出發

【東京六日同盟】内閣情報部では六日正午より首相官邸に漢口をペンで陥さん勢ひの從軍文士部隊を召集して懇談會を開始した、主催者側より横溝情報部長以下各情報官、陸軍の佐藤新聞班長、海軍野田少將井口外務省情報第一課長横溝情報部長の壯行の辭に次いで從軍に關する意見を交換した、なほ陸軍側從軍文士は十一日の特急富士で、海軍側は十四日飛行機で羽田より夫々戰線へ向ふ筈

米、デ杯王座確保 三對二で濠洲に辛勝

【ジヤーマンタウン五日同盟】本年度デ杯チヤレンジラウンド米國對濠洲戰第三日は五日シングルス二試合を擧行、先づ米國のバツヂは濠洲のクイストをストレートで破り制覇を確定、續くリツグスは濠洲のブロムウイツチに敗退、結局三對二で米國優勝世界庭球の王座は再び米國の確保する本間内務省警保局長、文士側も菊池寛以下全員廿名出席し漢口をペンで陥さんとの意氣盛んなる壮行の辭に次いで從軍に關する意見を交換した、なほ陸軍側從軍文士は十一日の特急富士で、海軍側は十四日飛行機で羽田より夫々戰線へ向ふ筈

滿洲に一大パルプ會社 興安嶺の無盡材を開發

【新京五日同盟】滿洲國政府は大小興安嶺の森林資源を開發し康德九年十月の所要出材目標をパルプ材約三十萬石、工用材約二十五萬石とす

一、政府は經費約三千萬圓をもつて鐵道の施設、輸送汽船の建造その他再伐、運材施設を整備す

一、大小興安嶺の森林資源を生産を目標に左の各地に工場を設立する、佳木斯、黑河、牙克石

一、パルプ工場經營のため資本金二億圓（日滿折半）の特殊會社を設け、各種パルプ製造業務に當らしむ

一、各種パルプ年産廿三萬噸

富山縣下 氷見町大火 千五百戸灰燼

【富山六日同盟】六日午前零時十分頃富山縣氷見郡氷見町附近から發火、西北の烈風に煽られて火が四方に飛ひ擴がり氷見町役場、氷見郵便局、警察署をはじめ千五百余戸をなめ盡くし午前五時三十分鎭火した、目下通信杜絶のため損害程度詳細不明だが、警官、消防隊、檢疫班出動罹災者の救護に當つてゐる

客連待呆け 絲は依然不通

【九龍五日同盟】我が海軍航空隊の連日に亘る猛爆のため廣東漢線は既に漢口行直通列車を運轉せざること約一ヶ月に及んでゐるが、四日粵漢鐵道當局が銀盞坳附近の鐵橋修理を完成したと稱して五日久し振りに九龍より漢口行直通列車を運轉するとの旨發表したので五日朝には外人數名を交へた乘客約百名が數日間の辨當を用意し大きな荷物を手に九龍驛に殺到して來た、何れも爆擊覺悟の悲壮なそして不安な面持で客車に乘り込んだが、定刻になつてどくらせど發車のベルは鳴らず擴聲器は徒に黑煙を吐くのみ、遂に正午になつて驛員が都合により運轉中止の旨をアナウンスし乘客は大きな荷物をさげて客車からぞろぞろと降りて來る始末だつた、驛員は暫く運轉中止してた旨漢口から列車運轉可能の通知が到着しなかつたゝめだと頻に辯解したが、事實は四日の空襲の連日に亘る猛爆のため廣東漢線は既に漢口行直通列車を運轉せざること約一ヶ月に及んでゐるが、四日粵漢鐵道當局が銀盞坳附近の鐵橋修理を完成したと稱して五日久し振りに九龍より漢口行直通列車を運轉するとの旨發表したので五日朝には外人數名を交へた乘客約百名が數日間の辨當を用意し大きな荷物を手に九龍驛に殺到して來た、何れも爆擊覺悟の悲壮なそして不安な面持で客車に乘り込んだが、何れも汗を拭き拭き切符の拂ひ戻しを受けた

滿ソ國境をくゆく

敵を敵地に擊つ …… (7)

赤軍のスローガンに曝さる

黑河も、今ではつい目の先のブラゴエベンチエンの街に現在は現在人一千五百、半島人三百、滿人一萬三千ほど住み、ロシヤは三百人ほど殘留してゐるのみだ、滿ソ貿易に從事してゐたものは一人も見ない、ソ聯側の隊員もこの一千五百ほどの人口の中に、そこからソ聯側の查證を受け、シベリヤ鐵道を一千五百哩ほどの地点で一つになつてしまふ結氷期の越境者をどうして防ぐかなどを打振り、時に明朗國境風景といふものを現出したものの存在を見ないものゝ抱く疑問しい空氣は全く想像以上であつて、その緊迫した重苦さ、こゝ半年くらゐ前までは通りかゝりの船からソ聯側に向つて試みにハンケチでもふると向ふでも同じやうに帽子かゝる雰圍氣の中にあつて、一つだけ語るに足る朗景といのださうだが、昨今ではガ・ベ・ウの嚴烈な猜疑眼を恐れてか、こちらから帽子をふつても素知らぬ顏で、應答するものはなくなつたさうだ

黑河とブラゴエ間は互ひにアド・バルーンをあげて見たり、ラヂオの擴聲器を向けたりして

宣傳

戰を演じたことまではただ無氣味な沈默だけが兩岸を壓してゐる有樣だ、もあつたが、いつまで松花江の煙火大會を行き合せた、當夜の人出は大變なもので、ロシヤ人のよろこぶこと、水面も岸の中洲も嬉々たる人の群れで埋まる盛況を見た、黑河から孫吳までの線は、全く國境に近接してゐるだけに、緊張の空氣は掩ふことが出來ぬ、汽車も飛行擴もこの區間を通るときはブラインドを閉ぐ下されるのである、滿洲里から海拉爾一帶の地域もまたこれと同じ緊張の色がたゞよつてゐるに相違ない、かうして滿ソ國境は「敵を敵地に擊つ」赤軍スローガンは基づき、大きな脅威下に曝されてゐるのである

（をはり）

待呆け 絲は依然不通

昭和十三年八月廿六日本紙一四九一頁本會役員廣告中學務委員久保久とありしは本田久の間違ひに付きこゝに訂正仕候

昭和十三年八月廿八日

マリリア市 ヴイラ・ベーラ 共愛日本人會 會長 家入滿

ソルベッテリーア 讓り度し

場所は一等地、常運客確定、特別の安價にて譲る、支拂にも便宜計ります、誰にも出來て利益の多い商賣です 住宅キンタール附き、ソルベッテ製法も教へます

照會は Rua Sebastião Pereira, 14 São Paulo

尋人

昭和七年七月二日サントス上陸 東京府人 家長 本多淺太郎 殿

近日歸國に就き面談仕り度し若し本人御存知の方は何卒左記宛御一報下され度く御禮致します

岸本勇太郎 P. C. Rodrigues Alves, 142 Est. Guratinguetá E. F. C. B.

Bar e Restaurante HUNGARIA

Rua Xavier de Toledo, 8-A Tel. 4-4033 São Paulo

各國料理・美味・低廉

バンケッテ用サロン特設貸賃は戴きません 何時にても御用命に應じます

……ピエンナ音樂あり……

募集

四洋洗濯職人、經驗の有無を問はず、詳細は直接左記へ

聖市ビニエイロス區街五八 マルチン・カラスコ 昭和洗濯所

ELECTRA O MELHOR RELOGIO SUISSO

UNICOS DEPOSITARIOS JOALHARIA CASA CASTRO

RUA 15 DE NOVEMBRO 41 ESQ. AMCHIETA

寶石商 カーザ・カストロ

總領事館、ブラジル拓植組合、海外興業會社、各地小學校并に運動團體より御買求めの榮を賜る

難病者來れ!! 田上鍼灸療院

パ延長線ベーラ・クルース市 ドツトル・アホンソ横五〇八

尋人

熊本縣鹿本郡（昭和拾年渡航） 古閑秋彦

右者御存じの御方は御手數ながら本人若しくは左記宛御一報被下度御願ひ申上候

パウリスタ線バレツトス驛イタンベー町 兄 古閑慶吾 郵函十六

司生堂医院 ドトール川口熊太

パウルー市アントニオ・アルベス街七六 電話三七

完全肥料 NITROFOSKA CALNITRO "IG"

フエルナンド・ハツクラツト商會 特約店 カーザ東山

Caixa Postal, 528 — São Paulo

Lins 及 Promissão

御挨拶 岡田英定

バストスに於ける中堅青年講習會及法話會に出張の折は色々と御世話になりました、去八月二十八日無事歸宅致しましたから御安心下さい

カルニトロ I.G.

窒素（ニトリツコ1/2、アムモニア1/2）の十六% 炭酸カルシウムの四三% 含有、上述カルニトロ I. G. 肥料は棉作に窒素肥料として理想的收穫を得る

Fernando Hackradt & Cia. R. Lib. Badaró, 314 2°. andar S. Paulo

毀方青年用洋服 大賣出し

當店御來駕の皆様に最も信用あるブルデンシア貯蓄銀行發行

千コント

貯蓄債券を提供致します……

第七回全伯邦人陸上競技大会

月桂樹の大旗何れへ？

勞頭から熱戰續出

惡天候何者ぞ　雨中に沸る鬪志！
競ふよスポーツの華

支那では、わが皇軍の將士があらゆる艱難を排して、果敢に肉彈を投げつけて奮戰して居る、このとき、この國民的興奮の中に在伯邦人スポーツ界に燦として輝く金字塔――第七回全伯陸上競技大會は昨六日パウリスターノ競技場で花やかな幕を切つて落した、前日より怪しげな空模様は當日の午後に至り雨となつてグラウンドは滑り、選手の活躍をにぶらせたが鬪志に燃ゆる百六十餘名の選手たちは、惡天候何ものぞの意氣物凄く爭覇に火花を散らした

豫想の如くパウリスタ、ノロエステが首位を爭ひ、更に第三位を狙つて聖西と聖市近郊の追擊戰が續けられたが、殊勲早くも千五百米、砲丸投、四百米繼走に大會新記録が出るなど興奮の渦を捲き起して行つた、初日は第一線選手の間隙を狙つて躍り出した新人の奮鬪でノロエステ軍四十九點を獲得せばパウリスタ軍また着々と得點を重ねノロ軍の連覇を覆へさんとしてゐる

このスポーツも押寄せスタンドを埋めつくした、かくて定刻開會式が始まり、ラウドスピーカーより愛國行進曲が起ると百六十餘名の選手が威風堂々と入場、スタンド前に整列一分間聖なる默禱と共に遙か皇軍將兵に捧げた、まさに開始さるべき平和の戰を前にして勇ましくもまた美しい情景である

君塚會長の開會の辭につぎ前年度覇者ノロエステ軍平岡主將の宣誓があり、次いで優勝旗、優勝盃の返還が行はれ午後二時熱戰の火蓋は百米豫選によつて切られた

雨にもめげず一時頃から早くボーツも押寄せスタンドを埋めつくした、かくて定刻開會式が始まり、ラウドスピーカーより愛國行進曲が起ると百六十餘名の選手が威風堂々と入場、スタンド前に整列一分間聖なる默禱と共に遙か皇軍將兵に捧げた、まさに開始さるべき平和の戰を前にして勇ましくもまた美しい情景である

瞬間！

セーフ！
＝全伯野球の跡＝

第一日事實上の優勝戰と看做されたアリアンサ對サンパウロ戰に於ける三回一朔失に出たア軍佐藤が望月の右前安打で二進後、續く馬場の遊朔失に勇躍生還一對一同點となり球場を興奮の坩堝に叩き込んだ

トラック豫選
百米豫選

今年の豫選はパ線島田、木村能勢、ノロエステ渡邊、日野林、聖市近郊等の古豪新進入り亂れて豫選から早くも火花を散らす熱戰となり、百、二百、四百まで總當めにせんと大野心の峯は第三豫選に渡邊能瀬と鎬を削り合ひ遂に猛擊を起し落伍の番狂はせを演じてしまつた、豫選入賞者左の通り

◇第一豫選1島田（パ）一一・四2日野（ノ）
◇第二豫選1木村（パ）一一・八2林（ノ）
◇第三豫選1能瀬（パ）一一・六2渡邊（パ）

四百米豫選

◇第三豫選1大戸（ノ）五六・〇2木南

なほ第三豫選は峯負傷、田中（南聖）中尾（サ）の三者棄權し大戸、木南無鎬爭で樂走

百十米障碍

ハードルは出場者少く豫選二組、島田依然強く斷然二位を引離し一着、同軍の新進木南も島田に似た長身を利して力走よく一着に入つた

◇第一豫選1島田（パ）一七・〇2安永（ノ）3鈴木（聖）
◇第二豫選1木南（パ）一八・四2古川（ノ）3吉崎（パ）

二百米豫選

この競技も峯の棄權で實力伯仲のパウリスタ、ノロエステ兩軍の猛烈な競り合ひとなり大豪峯百米豫選に傷つき棄權したゝめ興味半減、從つて池田、田中を擁するパウリスタ陣に幸ひし第三豫選を除き二者一位、三者入賞、大戸に續くノロエステ三者も又全部入賞始めからトラックはノロエステ、パウリスタの爭覇戰となる

◇第一豫選1池田（パ）五五・二2白井（ノ）
◇第二豫選1田中（パ）五五・六2下迫（ノ）

第一日

早くも大會新記録二ツ
ノロ軍僅かにリード

トラック決勝

八百米決勝

出場申込十五名棄權四名で結局走者十一名となつたゝめ豫選を繰上げ決勝となる、昨年度優勝聖西の黒本次いで同酒井の中距離陣に對しパウリスタの四百走者田中孤軍奮鬪の挑戰、之にノロエステ軍喰込んで勝敗は豫斷を許さぬ、昨年の覇者黒本スタートよくトップに飛出したがパ軍田中忽ち抜き越し田中、ノロ軍大迫聖西黒本、酒井等一團となつて競り合ひ第二周目第二コーナー邊りで黒本忽ち下迫を抜いてトップの田中を抜かんとしたが、田中よくコーナーを利して乘ぜしめずそのまゝ直線コースに入り兩者の差二三米、遂に黒本の猛烈な追撃も及ばず田中そのまゝゴールに逃げ込みで、首尾よく勝名乘りをあげパ軍中距離陣にまで喰ひ入つた

1田中（パ）二・〇九・六
2黒本（聖）
3酒井（聖）
4下迫（根）
5布谷（ノ）
6水上（ノ）

右田中の記録は第四回の聖西川田中の記録は第四回の聖西相川の二分八秒二に迫る好記録でパ軍は聖西傳統の中距離を始めて破り八百米に最初の

全伯陸競大會

第一日の各チームの得點

ノロエステ	四九、〇點
パウリスタ	四一、〇點
聖西	二二、〇點
聖市近郊	二〇、五點
南聖	六、五點
ソロカバナ	六、〇點

野村農場の小麥試作
聯邦農相から絶讃の辭
小麥大産地、北パラナに出現か

既報の通り聯邦農務大臣フェルナンド・コスタ氏は北パラナ野村農場に於ける小麥收穫祭に臨席のため去る二日午前十時十分ソロカバナ驛發の特別列車で出發、一行は農相の外ウェンデル州農務長官、聯邦農務監督局ヴイエガ氏、小麥奬勵局長ガストン氏其他農業技師リオ並にサンパウロ十四新聞特派記者等三十余名、途中イパネマに於ける聯邦農務省所管の燐灰石採掘坑道並に燐酸肥料製造工場視察の上翌朝七時バンデイランテス驛着、驛頭にはパラナ州執政官マノエル・リバス氏、同州農務長官以下州高官多數出迎へ、野村農場大窪支配人須永農場主任の案内で耕地に向つた

農相は先づブラジルが廣大なる面積を擁し

各種の氣候

土質を有ち凡ゆる作物が栽培される可能性あるに拘らず單り小麥作の微微として振はぬことを遺憾としてゐたが今日北パラナに於てそれの魁を見たを本懷とすると冒頭、ブラジルは年々六七十萬コントの小麥を輸入に仰いでゐる狀態だがこれは國家經濟上最も遺憾とするところ、余はゼツリオ大統領の同意を得て就任以來小麥の國産奬勵に微力を致して來たところ、今や日本人によつて

一番必要な

の可能性を確信す諸君と激の挨拶を述べた

各種の氣候

土質を有ち凡ゆる作物が栽培される可能性あるに拘らず單り小麥作の微微として振はぬことを遺憾としてゐたが今日北パラナに於てそれの魁を見たを本懷とすると冒頭、ブラジルは年々六七十萬コントの小麥を輸入に仰いでゐる狀態だがこれは國家經濟上最も遺憾とするところ、余はゼツリオ大統領の同意を得て就任以來小麥の國産奬勵に微力を致して來たところ、今や日本人によつて

一番必要な

何かとの問に對し、ブラジルは世界各國人を誘入これら外國人との協力によつて國の繁榮を圖ることだと答へたこと

とがある、今日當野村農場に參りその完備した組織に感服したが殊に小麥試作が好成績を納めてゐるのを見て、これ以上の喜びはない、これが日本人の手によることを想ふとき外國人誘入の要を唱へた輩の

自分の言が

適中せる證左として二重の喜悅に浸るものである

と述べ、コロニアの爲に祝盃を擧げ、執政官と共に庭前に記念木を手植し正午農場を後にロンドリーナに向つた、本年の野村農場小麥栽培面積は約四十五アルケルで二千五百俵乃至三千俵の收穫豫想だがこれは全部農務省で買上げた上同地方農家のため來年度種子として配付される筈で、來年は野村農場を中心にして少

六万俵前後

の生産あるものと豫想されるが、農相は鼓數年間午前六時四十五分から伯國向け放送を行ふ、放送時間は

東京ラヂオ放送協會から
けふ特別放送

東京ラヂオ放送協會では本日の伯國獨立記念日を記念するため特二、外務大臣挨拶（葡語文朗讀）

三、駐日伯國大使挨拶

四、東京及び横濱在住伯國人挨拶

五、藤原義江の歌

イ思出の唄、ロ松島音頭、大漁節、リゴレット

伯國獨立記念日を祝す

東京ラヂオ放送協會では本日の伯國獨立記念日を記念するため特二、外務大臣挨拶（葡語文朗讀）

三、駐日伯國大使挨拶

四、東京及び横濱在住伯國人挨拶

五、藤原義江の歌

イ思出の唄、ロ松島音頭、大漁節、リゴレット

大旗の歡喜近し
けふ沸騰點へ！
午後一時晴れの入場式

陸上大會もノロ線リードのまゝ第二日を迎へいよ〳〵けふ沸騰點に達する

プログラムは次の通りである

午後一時　選手入場式

一時半　百米決勝、棒高跳決勝、圓盤投決勝

一時四十五分　百十米障碍決勝

二時十五分　四百米決勝、三段跳決勝、槍投決勝

二時十五分　千五百米決勝

三時十五分　二百米決勝

三時半　一万米決勝

四時十五分　千六百米繼走決勝

走高跳決勝

1越智（パ）
2有森（ノ）
3永安（ノ）
4宇佐見（ノ）
5齋藤（サ）
6宮下（南）

一米七〇
一米七〇
一米六〇
一米六〇
一米六〇
一米六〇

走巾跳決勝

1牧野（パ）二・一二米一四（大會新記録）
2王置（ノ）二・一米〇九（大會新記録）
3森本（ノ）一一米三七
4木村（パ）一〇米九四
5久保（ノ）一〇米九二
6春成（ナ）一〇米七三

砲丸投

砲丸はなんといつても牧野のもので今年で六年連覇の偉業を達成した、第二位の玉置も堂々たる新記録でこれにつゞき本大會ではこの輝しい新記録が出た

1牧野（パ）一二米一四（大會新記録）
2王置（ノ）一二米〇九（大會新記録）
3森本（ノ）一一米三七
4木村（パ）一〇米九四
5久保（ノ）一〇米九二
6春成（ナ）一〇米七三

五千米決勝

ソロカバナの至寶小田（第）を始め昨年優勝者聖西山下以下十二名出場、山下制覇なるか最近メキ〳〵と賣り出した小田優勝するかに觀衆の興味はそゝがれてゐた、スタートは三周目までノロエステの上岡トップを切り小田三位、山下五位の順で進み、四周目上杉（ノ）小田、山下の順となり六、七、八周目までこの順位で進み上岡は二三十米も引離される、十一周小田トップに出で山下これに續き石田（ノ）上杉（ノ）の四人一團となつて斷然他を抜き最後の快戰はこれ等四人によつて息詰まる戰ひが演ぜられるものと豫想されたが十二周目から小田得意のピッチをあげ十米も引離し山下これを追ひ石田、上杉これに續き十二周、十三周と小田、山下は他を引離して猛進、小田は昨年の覇者山下を五十米の大差をもつて悠々ゴールイン、續いて山下は第三位の石田を百米も引離してゴールにすべり込む

1小田（ソ）一六分四三秒七（大會新記録）
2山下（セ）
3石田（ノ）
4上杉（ノ）
5林（セ）
6御園（パ）

四百米繼走

大會の華四百繼走はソロカバナの樂權により五チームが左

一米四五より開始、一米六五を跳んで一米七〇臺を窺ふ者パ軍越智、松下二名、ノロ軍有森、宇佐見、永安三名に南聖宮下、聖市近郊齋藤の各一人、雨模様の冷氣に各選手の足伸びず悪コンデションで一米七〇を突破したのは有森、越智の兩雄、パーは七五に上げられゝに兩者の壯烈な一騎打ちが演ぜられ、觀衆片唾を呑んだが之も惡天候のため實力は一米八〇で七五は樂に跳ぶ二人とも調子出す、兩人共體はバーを完全に越し乍ら足を引つかけて萬事休す、記録は一米七〇の近年稀な低調に終つてしまつた、順位決めの結果、兩人共同じ高さ乍ら越智は一米七〇を一回でパス有森は漸く第三回目に跳んだゝめ惜しくも二位となつた

フヰルド決勝

1バウリスタ四五秒六（大會新記録）
2聖市近郊
3ノロエステ
4聖西
5南四

聖市近郊の大會

第一日の各チームの得點

ノロエステ	四九、〇點
パウリスタ	四一、〇點
聖西	二二、〇點
聖市近郊	二〇、五點
南聖	六、五點
ソロカバナ	六、〇點

流線型

◇…一昨夜陸聯臨時總會を終へて君塚會長が役員連中に一杯飲ませてやらうと五、六名を連れて二、三コント使ふつもりで富田家に行つたが、出て來た女給が新米のせいか、戸口からチョツと覗いただけでアツサリ門前拂ひを喰はせてしまつた、君塚さんの顔をしらないなんて認識不足も甚だしい、おかげで富田家は二、三コント儲けそこなつてしまつた

◇…ノロ線名物男應援團長の吉田腕忠さん、出陣前に馬に跨られて震て居たが、じつとして居られず選手の後を追つて馳せつけ第一日スタンドに赤チョツキ姿を颯爽？と現はしてゐた

◇…全伯陸上大會には雨はつきものだが、もう一つのつきものは、この腕忠さんの赤チョツキである、例のドラ聲で、ノロエステ軍頑張れ、十萬のノロ線在邦人の聲援あり！と怒鳴つてゐた

◇…最近ペロオリゾンテに今迄女として通して來たマリアといふお嬢さんが手術の結果男性の領域へ入り込み今後はマリオと改名するとの先般來設立準備中だつた母の會では來る十一日午後二時から日本倶樂部で意義ある母の會創立發會式をやることとなつた

◇…最近聖市郊外ボンレチロ方面在住の商人に頻々として脅迫狀の舞ひ込み巨額の金を強要してゐる、脅迫狀の署名には大佛次郎の小說ならぬ伯國製「黑手組」とある

◇…中央線スザノ驛日伯教育農業協會では本日の伯國獨立記念日を期し日伯親善を圖る意味で盛大なる祝賀會をやる由

◇…パラグワス一青年會では會員大いに相戒め獨逸力行した結果この程第一回國防獻金として金五十ミルを差し出した

打擊率最高五割
アリアンサ望月君獲得

順位	姓名	チーム	打數	安打	試合	率
一位	望月	アリアンサ	十二	六	三	五割〇〇
二位	竹田	サンパウロ	十二	四	三	四、〇〇
三位	石丸	聖西	八	三	二	三、五
四位	竹田	サンパウロ	十一	四	三	三、六
五位	白石	聖西	十二	四	三	三、三
六位	瀬戸	パストス	十二	四	三	三、三
七位	板垣	パストス	十二	四	三	三、三
八位	阪倉	聖西	十二	四	三	三、三
九位	吉武	聖西	十二	三	三	三、三
十位	一色	聖西	十一	三	三	三、三

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII — São Paulo — 4.a-feira, 7 de Setembro de 1938 — Num. 1.501

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA
DIRECTOR Masaaki Udihara — GERENTE Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 1109
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas
PARA O BRASIL
Por anno ..... 30$000
Por semestre ..... 16$000
Numero avulso $500
PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 100$000

Annuncios
Temos á disposição dos interessados uma labella completa de preços para annuncios nesta folha

SETE de SETEMBRO. E' a data magna da Nação Brasileira. O Brasil inteiro, engalanado e de coração vibrante de civismo, commemora o anniversario das sua independencia politica. Os filhos desta grande terra rendem homenagem, neste glorioso dia, aos emeritos bemfeitores da patria, áquelles que com abnegação sublime e profundo amôr patriotico fundaram os alicerces da nacionalidade.

A figura de José Bonifacio, o Patriarcha da Independencia, juntamente com a pleiade de luminosos brasileiros da epopéa nacionalista, é evocada hoje com profundo respeito e admiração, pelos seus posteros. A grandiosidade da concepção, no campo do idealismo politico e social, a profundeza e amplitude da visão, quanto ao futuro do Brasil, daquelles paladinos da Independencia, só aos poucos, com o correr dos annos, vão sendo devidamente conhecidas e comprehendidas, tão superiores e tão vastas eram ellas.

Hoje, no meio de tumulto das competições e lutas dos cinco continentes, o Brasil, mercê do seu solo immenso o rico e sobretudo do ideal humanitario de seus filhos, occupa um logar de especial destaque, como um dos poucos paizes que pode realmente contar com um futuro grandioso.

***

A' generosidade do seu solo e do seu povo, milhares de estrangeiros devem a vida e o bem estar. Em retribuição a essa generosidade, todos quantos aqui labutam, honestamente, sabem se dedicar com igual ardor e enthusiasmo ao trabalho, com o objectivo supremo e commum de contribuir para o engrandecimento do Brasil.

E, hoje, Dia da Patria, é tambem dia de grande festa para a alma e o coração de todos os estrangeiros aqui radicados. Elles associam-se de corpo e alma aos festejos e commemorações do Dia da Independencia.

Os nipponicos, que dedicam especial amor e respeito para a sua segunda patria, rendem a sua sincera homenagem ao Brasil, por meio de commemorações collectivas da colonia ou associando-se ás commemorações civicas do povo brasileiro.

De Tokio a Helsingfors

Permanece inalterado o espirito olympico entre o povo nipponico

(Do nosso enviado especial)

Tokio, Ago. — O Nippon, que tanto enthusiasmo sentira quando em junho de 1936, no Hotel Adron, de Berlim, a Commissão Olympica Internacional resolvera escolher a cidade de Tokio como o local da XII Olympiada, foi obrigado a abrir mão de dadiva tão preciosa, uma opportunidade tão excellente para se tornar conhecido dos estrangeiros. Não é, pois, sem dó que o povo nipponico declara cancellados os jogos olympicos de Tokio em 1940, quando commemoramos o 26.° centenario da fundação do Imperio. Conhecedores do sentido humanistico do movimento olympico, achamos opportunos, entretanto, sacrificar os direitos que nos foram conferidos, para evitar sacrificios maiores. Com effeito, as circumstancias sob as quaes se acha a Nação neste momento autorisam tal attitude de resignação: o conflicto sino-nipponico já entrou no segundo anno; a China declarou a sua intenção de prolongar as hostilidades anti-nipponicas; o Nippon em peso, luctando pela restauração da paz do Extremo Oriente, eis o panorama nacional resumido em poucas palavras.

A experiencia, um tanto amarga, não é, aliás, novidade alguma em nações europeas, que comprehenderão com exactidão o sentimento do povo nipponico.

Não podemos deixar de consignar aqui os nossos mais sinceros reconhecimentos pela attitude imparcial e amistosa tomada pela Allemanha, Italia, Inglaterra e França, as quaes concorreram decisivamente para accelerar a decisão de trazer o historico certame para a capital nipponica, em 1940.

Recordamos, a proposito, as moções manifestadas pela Commissão Olympica Internacional, na conferencia do Cairo, e pela Federação Athletica Internacional, em Paris. Taes moções não eram mais que um testemunho claro e insophismavel do desejo sincero do povo europeu, pelo successo da Olympiada de Tokio.

Comprehendemos tambem que não somente os paizes ligados ao esportismo, mas tambem numerosos adeptos esportistas organizaram planos de visitar o nosso paiz, aproveitando-se da occasião, segundo se deduz das cartas procedentes de varios paizes, inclusive do Brasil.

O enthusiasmo pelo estudo da lingua japoneza que se desenvolveu de maneira notavel no exterior, nestes ultimos tempos é outra prova do interesse pelas coisas nipponicas.

Folheemos, agora, paginas dos annaes da Commissão Organizadora da Olympiada de Tokio. A V Olympiada em Stockholmo marcou a época em que pela vez primeira o Nippon tomou parte nos jogos olympicos. O primeiro convite recebido pelo Nippon para realizar em Tokio a XII Olympiada foi em 1941. Os drs. Edstôme e Schmidt, respectivamente da Suecia e Austria, se promptificaram a apoiar a escolha. A Italia que se candidatara á XII Olympiada, desistiu do seu intento em favor de nós, em attenção á commemoração do 26.° centenario da nossa fundação. Londres não ficou indifferente á ephememeride tão auspiciosa, retirando com promptidão a sua candidatura. A Allemanha enviou para Tokio todo o material aproveitavel utilizado em Berlim. Os esforços europeus em prol da realização dos jogos olympicos em Tokio não eram mais que a expressão do respeito ao espirito olympico defendido pelo barão Coubertin. Era, afinal, uma prova evidente de que os jogos olympicos não eram uma herança ou propriedade exclusiva, nem coisa inherente á Europa e á America.

O espirito Olympico defendido pelo barão Coubertin comprehende alguma semelhança ao "bushidô", a doutrina samuraica. E a Olympiada de Tokio podia addicionar ás côres occidentaes um pouco de espirito nipponico, embora em proporção muito reduzida.

Todos os esforços foram feitos pela imprensa e outros meios de propaganda, no sentido de tornar conhecida a regra assumida pelas olympiadas para fortalecer o corpo e o espirito humanos e ennobrecer a alma, accelerando o estreitamento de amizade entre os povos.

Na parte material, não medimos sacrificios. Com effeito, os preparativos vinham sendo atacados com apreciavel intensidade em todos os terrenos, desde a conferencia geral do Cairo. O curso para remo, de 2.400 metros de comprimento e 70 metros de largura, estava quasi prompto, só faltando a ultima mão de obra. O curso, situado em Todabashi, é talvez o maior existente no mundo. O estadio principal com lotação para 100.000 pessoas e a piscina com 30.000 logares para espectadores já estavam projectados. Os trabalhos constructivos de porto para "yatching", instituto physico e villas olympicas estavam iniciados.

Numerosos convites foram expedidos ás federações esportivas internacionaes, tendo o Nippon tomado parte em numerosas conferencias nesse sentido.

Como já tivemos opportunidade de affirmar, o Nippon não se sentiu á altura de levar avante o plano de realização dos jogos olympicos em 1940, embora capacidade bastante para isso tivesse, tendo em vista o conflicto sino-nipponico. Apezar de muito lamentar o deixar de corresponder aos apoios incondicionaes das nações amigas, o momento assim exigia. A situação, como ficou patente, não exigia que renunciassemos tão prematuramente ao direito que a gentileza das nações amigas nos conferiu. Ha duas razões ponderaveis para assim procedermos. Uma, é a modestia typica do povo nipponico, que receia não corresponder ás espectativas geraes, levando avante o seu plano de trazer para Tokio a XII Olympiada. A outra é que consideramos estar ainda em tempo de restituirmos á Europa, os jogos olympicos, onde poderão ser realizados com maior successo.

Felizmente a escolha da capital finlandeza foi muito accertada, e folgamos muito em saber que os preparativos vão correndo maravilhosamente.

Estamos certos de que o presente conflicto armado não durará muito e que a paz ha de chegar para o céo do Extremo Oriente para delles nunca mais sahir, quando então disputaremos novamente o logar a que renunciamos.

O povo nipponico está sensibilizado a todos os que cooperaram para trazer a Tokio a XII Olympiada, fazendo ardentes votos para que os jogos olympicos de 1940, em Helsingfors, sejam coroados de exito por todos almejado.

Resolvida a questão de fretes maritimos

A reducção de 10%

Tokio, Ago. — Ficou, finalmente, resolvida a questão de reducção de tarifas maritimas, ha muito tempo debatida entre os armadores.

Segundo as deliberações recentemente tomadas na reunião de proprietarios de navios mercantes, as tarifas maritimas inclusive as taxas de fretagem, serão reduzidos de 10%, afim attender á gravidade do momento.

Impressos?
Procure a
TYP. "NIPPAK"
Caixa Postal, 375

O Athletismo na Colonia

Dentre as modalidades esportivas praticadas pelos filhos do Imperio do Sol Nascente aqui hospitalizados, figura em primeiro logar, o athletismo. A historia do esporte base na Colonia data de mais de dois lustros, mas o seu progresso tornou-se sobremaneira notorio desde 1931, anno em que se realizou o primeiro campeonato In-Colonia desse esporte. Antes dessa competição de ordem geral em que tomaram parte, pela primeira vez, representantes de todas as regiões do estado bandeirante, já se realizavam annualmente, certames esportivos desse genero, mas tinham sempre caracter local.

Do anno de 1931 para cá, exceptuando 1932, todos os annos, os athletas da Colonia têm reunido na capital do Estado para disputarem o titulo de campeão do respectivo anno. Com a excepção do campeonato de 1931, o titulo maximo do athletismo nipponico tem sido conquistado alternativamente pelas turmas da Noroeste e Paulista. A ultima competição que foi realizada em Setembro de 1937, foi vencida pela turma da Noro[illegible] No presente campeonato, cujas provas finaes são le[illegible] effeito hoje, deverá sahir vencedora a equipe da alta [illegible] de accordo com a ordem chronologica, mas devido á e[illegible] forma em que se acham os representantes da Noro[illegible] São Paulo, a victoria da alta Paulista está sendo co[illegible] como bastante problematica.

O grande progresso technico alcançado p[illegible] da colonia nestes ultimos annos é innegavel. Os d[illegible] mais antigos que ainda estão de pé, datam de 1935, [illegible] renovados, todos os demais recordes. Os recordes [illegible] são o do athleta Aikawa e o do Fujihira. Um de 80[illegible] cujo tempo é de 2'08''2 e o outro é de salto em e[illegible] resultado é de 6 mts. 71.

Estes recordes deverão cahir no campeon[illegible] te anno.

Os japonezes, no esporte base, têm conse[illegible] mente, alguns resultados comparaveis aos dos m[illegible] brasileiros, mormente nas provas de campo.

Para convencermos os leitores dessa a[illegible] citar os estupendos feitos dos athletas Ishida, [illegible] kino, Arimori, Mine e muitos outros.

Ishida, saltador de vara, num recente t[illegible] sificação levado a effeito pela Federação Paulista passou o sarrafo a 3 mts. 80 com relativa facil[illegible] um athleta ainda bastante jovem, pode muito pr[illegible] um dos mais destacados successores de Lucio de C[illegible] sawa e outro jovem de grandes possibilidades, [illegible] centes competições realizadas em Mogy das Cruzes [illegible] ta saltou 14 mts. 06 na prova de salto triplo. Ora, que está ao par do que seja o salto triplo, po[illegible] comprehender o que significa este resultado. Te[illegible] athleta Arimori que pertence á turma da Noroes[illegible] de de salto em altura é 1 mt. 81, resultado es[illegible] em 1936 na competição entre os representantes da [illegible] novissimos da F. P. A.

Devemos mencionar ainda os nomes de Ma[illegible] O primeiro é o detentor já ha quatro annos de to[illegible] des das provas de arremessos. O segundo é o cor[illegible] 400 metros rasos, cujos tempos são respectivamente [illegible]

***

As actividades esportivas da colonia não [illegible] mente na competição Inter-Colonial.

Desde o anno de 1934, approveitando a [illegible] athletas japonezes do interior na capital, as direct[illegible] E. N. e da F. P. A. resolveram instituir a competição [illegible] zes à Novissimos da F. P. A. Esta competição tambem [illegible] despertado em todos os annos, um grande interesse não s[illegible] circulos japonezes mas tambem nos circulos interessados [illegible] sileiros.

No anno passado realizou-se tambem uma com[illegible] extraordinaria e amistosa entre a turma japoneza e os repre[illegible] sentantes da Federação Universitaria Paulista.

Nos dias presentes, o esporte, ao lado da cultura physica, está tendo um papel saliente no incentivo das relações brasileiro-nipponicas. Um apoio moral e material ás iniciativas esportivas deixou de ser um favor para tornar-se uma necessidade afim de contribuir no progresso dessa segunda patria dos subditos do Nippon.

戰火に立つ (11)

海野啓一

市街戰の心理

この嵐を衝いて敵は間斷なき襲撃を試みたが、何れも失敗に歸し、八宇橋方面の敵は動搖の色ありとの情報であつた。私は敵の砲彈が來ない内にと急いで自動車を用意してS大尉と共に陸戰隊に行つた。

しかし自動車が着くか着かぬかに敵は大場鎭方面から猛烈に陸戰隊方面を砲撃し出した。私共は陸戰隊の豫備隊が一杯休んでゐる廊下を傳つて○○室に入つた。

僅にハンモックをぶら下げてガラス窓を蔽ふてある室の中には司令官始め幕僚及部隊長が集まつてゐた。

司令官は默然と椅子に腰を降して、軍刀を杖ついて居られる。內務主任の榊原少佐が立つて來て戰況の說明をしてくれた。

間斷なく落下する敵の砲彈と味方の陣地から打出す砲聲が中庭にこだまして、殆どお互の話聲が聞き取れぬ程であつた。

其の內に程近いテレスアパートの七階に火がついた。之が全部燃えるとなると陸戰隊本部は一大事である。F中佐が雨の中を走つて出た。續いて防火隊が長い梯子と蒸氣喞筒を持つて之に續いた。敵彈はその周圍に間斷なく降り注いでゐるのだ。

私共は司令官室のガラス窓を通して手に汗を握つて、この決死的壯擧を見守つた。やがて陸戰隊員の一人が、長い梯子をブランチパイプをもちながら昇つて行く。おゝ、彈丸はその背後から獲物を狙ふ

猛獸の樣に飛びかゝつてゐる危い！幾度か心の中で叫んだしかし、斷じて行へば鬼神も亦之を避くとは、奈な形容の辭句ではない。見る間にその猛火は消し終つたのである。

「そう〳〵、昨日の榊原少佐の獨戰振を聞いて貰はにあなならん」

我に歸つたY參謀が言つた

「馬鹿言へよ、ハヽヽヽ」

榊原少佐は快活に笑つた。

「あの見張臺の頂點に厳然突つ立ちながら、○○砲の指揮を取る少佐の風貌はほんたうに軍神の樣でしたよ」

「冗談云つちや困るよ、ハヽヽヽ」

「だが、昨日の砲彈は相當なものだつたぞう」

M中尉が側から言つた。

「あのてつぺんに立つてゐると、まるで兩側は砲彈の洪水さ。だがこちらは始めから捨身だし、一——二分たつと平氣でしたよ」

少佐は戰場心理の一端を語つた。大砲の彈丸に慣れて來ると、むしろ飛んで來ない時が手持無沙汰の樣な心理は、誰しも經驗する事であらう。

「彈丸が來なけりゃ、飯さへまづい」と言ふのは僞らぬ告白である。生死を超越した神經の最緊張裡に立つと自然それが憊らされて、耳をつんざく砲彈の唸りが自分の乘つた電車の車輪の音の樣に感ずる時もあらう。

だが、かゝる英雄的樣度は百戰練磨の士の胸中に求むべきもので、之を筆にし口になし得ざるを遺憾とする。

「上に上つて見ませう」

S大尉が言つた。

警戒兵や豫備隊が坐つたまゝ休憩してゐる廊下を足を踏まない樣に注意して幾段を昇つた。中庭に飛び散る砲彈でガラスが割れると士官室の從兵が其の破片を處分してゐた。

屋上に上らうとすると、忽ち警戒兵に呼びかけられた。

「危いです」

成程そこから頭を出せば、商務印書館まで千米と隔つてない。敵の第一線からは二百米位もあらうか。雨しぶきが眞向から吹きつけて來た。

「何に！」

勇取なS大尉は無帽で飛び上らうとした。

「昨日もそこで打たれました」

警戒兵は軍帽で哀願した。

私は

「よしませう、あつちに廻つたら——」

必要のない事故はなるべく防止すべきである。S大尉もこの意味なき暴擧を中止して更に一段を下つて反對側の屋上に出た。雨は蕭々とコンクリートの上に降り注いで、警戒隊が○○名階段で待機してゐた。

敵の砲彈は狄思威路方面に盛に白煙を上げて、私の實弟がゐる○○方面は今その集彈下にある。暫くすると敵の砲彈が次第に足を伸した。先づ北四川路の東側長春路附近に二三發落ちると、今度は盛に虹口方面に落下し出した。

「とう〳〵市街地を討ち出した」

「畜生やりあがるなあ」

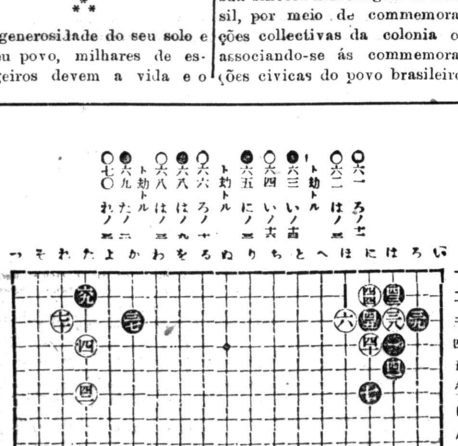
二人は顏を見合せた。

「少し打たれながら歸りませう」

私達は階段を降りて待たせてあつた自動車に乘つた。北四川路の第一線陣地の側を疾走して下つた。事務所に歸ると虹口のこゝかしこに砲彈が落下してゐる。呉淞路とモリソン路の角やラムスアベニュー本廟寺附近にも落ちた。

この流彈なる砲撃は虹口の人心に多少の衝動を與へたのは事實である。

(7) 對局者 先番 原田三段 五先 鈴木三段



求人
洗濯職人二三名
上記募集に付き御希望の方は同人に直接御面談ありたし、アラメーダ・ダ・ガ女中見習二三名
レツテル五—四七四一八番 中村洗濯所
電話五—四七四一八番

家具賣物
歸國の爲め家具一切安價に譲り度し
ルア・トーマス・デ・リーマ二八三

急募
十七、八歳の洗濯見習の方を求む、委細はサントス市ブラス・クーバス街二七七
オリエンテ洗濯店
電話 七三六八

Dr. IVAN M. DE VASCONCELLOS
Partos Molestias de Senhoras - Operações
產婦人科・內科一般
日本人看護婦在勤
ドトール イヴアン・エメデ・バスコンセーロス
影察所 リベロ・バダロ四八八の五階 46—47號室 電話二・六三九一
影察時間 午后三時—六時
自宅 ネストロ・ベスターナ一八七 電話 四・〇五二九

市スナーピンカ
長戸旅館

日伯療院 加藤憲
◎眼科 ◎神經科 ◎鍼灸 ◎婦人科 ◎慢性病 ◎胃腸病 ◎小兒科 ◎ヒステリー ◎ヨクマチス ◎疾病 ◎痔
電話二三七番
Av. Sampaio Vidal Marilia N.34-C

青年急募
身體壯健、仕事リンペイザ、御希望の方は優遇す
サントス市マレシアール・ベーガ・ジウーニョ十六
遠木

割がきいて味が良い
醸造元 カフエラ・ジヂアロ線 富士山印醬油
藤澤豐次郎